

# 新年 謹賀



新年あけましておめでとうござい  
ます。令和4年が、市民の皆さんにとつて  
素晴らしい1年となりますよう、祈念申  
し上げます。

令和3年を振り返りますと、新型コロナ  
ウイルスの流行の波がたびたび押し寄  
せ、それに伴う緊急事態宣言も繰り返さ  
れるなど、社会経済活動に制限が加えら  
れ、一昨年に引き続き、様々な困難にさ  
らされた1年でした。

その一方で、ワクチンの2回接種率は  
全国民の70%を超え、人々の感染予防へ  
の努力とも相まって、秋以降は全国的に  
新規陽性者の数が減少し、社会経済活動  
への制限も緩和されてきました。しかし  
ながら、新たな変異株の出現など新型コ  
ロナウイルスが消え去ったわけではあり  
ません。引き続きしっかりと感染予防に  
努める必要があります。市としても、昨  
年12月の医療従事者向けから始まった3  
回目のワクチン接種が、より円滑に行え  
るよう、力を尽くしてまいります。

また昨年は、東京オリンピック・パラ  
リンピックが開催された年でもあります。  
伊豆の国市がホストタウンとなっていた  
モンゴル国柔道ナショナルチームの活躍

や、自転車競技における本市在住選手の  
活躍などにより、スポーツの持つ力や意  
義を改めて実感することができました。

さて、多くの方が心待ちにしている、  
大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送が、  
いよいよスタートします。小豪族の次男  
として伊豆の国市に生を受け、源頼朝の  
側近となり、ついには鎌倉幕府二代執権  
へのぼり詰めた北条義時公。その人生  
がどのように描かれるのか、楽しみでな  
りません。

1月15日には、葦山時代劇場に大河ド  
ラマ館がオープンします。感染症対策を  
徹底した上で、多くのお客様をお迎えで  
きることを期待しております。この1年  
を、「北条義時イヤー」として大いに盛り  
上げていきましょう！

結びに、市長に就任して早くも8カ月  
が経ちました。今後とも、市民の皆さん  
の様々なご意見に耳を傾け、丁寧な説明  
に心がけ、職員とともに信頼される市役  
所を築いてまいります。

伊豆の国市長

山下正行

新年あけましておめでとうござい  
ます。  
伊豆の国市議会基本条例には「市政は、  
市民から選挙で選ばれた議員により構成  
される「議会」と、同じく選挙で選ばれた  
「市長」との二元代表制により運営され、  
相互に独立対等な立場で、緊張関係を保  
ちながら執行されるものであり、それぞ  
れ市民の負託に応える責務を負ってい  
る。市民に身近な存在であり、多様な意見  
を反映することができる議会の更なる充  
実・強化が求められている。」とあります。  
議会は、市民の代表機関であることを  
認識し、市民の多様な意見を的確に把握  
するとともに市政に反映させるよう努め  
ています。  
また、議会は積極的な情報公開と情報  
発信を行い、市民に開かれた議会を目指  
しています。長年の懸案でありました議  
会動画配信が昨年の9月議会より実施さ  
れ、議会の様子をインターネットでリア  
ルタイムまたは録画で見ることができ  
るようになりました。  
新型コロナウイルス感染症から一日も  
早く地域経済が復興し、元の生活に戻る  
ことができるよう行政と議会が一体と  
なって努力することを約束して、新年の  
あいさつとします。

伊豆の国市議会議長

内田隆久